

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月18日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨

【東証1部：3817】

目次

1. 2011年3月期 第2四半期決算概要

2. 下期の取り組み

1. 2011年3月期
第2四半期決算概要

第2四半期決算概要

決算のポイント

- (株)SRA: 売上高は前年同期比でほぼ横ばい。運用・構築の受注単価下落により粗利益率低下
- (株)AIT: 中規模案件の継続的受注により売上高、経常利益ともに増加
- その他のグループ会社: 海外で円高の影響を受けたものの全体として連結業績に貢献

◆参考 [為替レート]

[SRAアメリカ、ヨーロッパ]

2011年3月期第2Q: 1\$ = ¥88.48 1€ = ¥107.81
2010年3月期第2Q: 1\$ = ¥96.01 1€ = ¥135.53

[SRA OSS, Inc.]

2011年3月期第2Q: 1\$ = ¥83.82
2010年3月期第2Q: 1\$ = ¥90.21

■前年同期比

売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益 = 増収・増益

■第2四半期計画比

売上高、経常利益 = ほぼ計画通り

第2四半期業績（連結）

単位：百万円

〔前年同期比〕	2010年3月期 第2四半期実績	2011年3月期 第2四半期実績	差異
売上高	15,967	16,297	330
営業利益	687	799	112
経常利益	709	854	145
四半期純利益	355	396	41

〔第2四半期計画比〕	2011年3月期 第2四半期計画	2011年3月期 第2四半期実績	差異
売上高	16,300	16,297	△2
営業利益	850	799	△50
経常利益	850	854	4
四半期純利益	490	396	△93

業績分析（連結） 売上高

◆売上高 162億97百万円
（前年同期比 3億30百万円増／ 2.1%増）

■主な要因

◎開発事業＝ 88億82百万円（前年同期比 6.1%増）

- ・銀行向けの売上高が減少
- ・製造および電力向けが増加

◎運用・構築事業＝19億10百万円（前年同期比 8.7%減）

- ・大学関連が増加
- ・企業関連では顧客の内製化等で運用事業が減少

◎販売事業＝55億3百万円（前年同期比 0.0%減）

- ・(株)AITが機器販売の中規模案件を継続的に受注

業績分析（連結） 営業利益・経常利益

- ◆営業利益 7億99百万円（前年同期比 16.3%増）
- ◆営業利益率 4.9%（←前年同期 4.3%）
- ◆経常利益 8億54百万円（前年同期比 20.6%増）
- ◆経常利益率 5.2%（←前年同期 4.4%）

■主な要因

粗利益増加策（生産性の向上、外注費の抑制、プロジェクトのコスト管理の強化等の原価マネジメントの実践）により、前年同期を上回る粗利益を確保

業績分析（連結） 四半期純利益

- ◆四半期純利益 3億96百万円（前年同期比 11.6%増）
- ◆1株当たり四半期純利益 28.65円（前年同期比 2.99円増）

<参考> キャッシュ・フロー（連結）

	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	1,177	202
キャッシュ・フローマージン（%）	7.4	1.2
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-1,466	-555
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-584	-710
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	-869	-1,137
現金及び現金同等物の期首残高（百万円）	11,753	10,324
現金及び現金同等物の四半期末残高（百万円）	10,883	9,187

<主な要因>

◎営業活動によるキャッシュ・フロー

:売上債権の減少736百万円、税金等調整前四半期純利益700百万円
仕入債務の減少809百万円、法人税等の支払607百万円

◎投資活動によるキャッシュ・フロー

:投資有価証券の取得340百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出163百万円

◎財務活動によるキャッシュ・フロー

:配当金の支払553百万円、短期借入金の純減額157百万円

<参考> SRAグループ各社業績

		2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
SRA	売上高	10,809	23,093	8,415	17,685	8,409
	経常利益	1,298	2,810	564	1,342	481
AIT	売上高	4,723	11,355	4,777	10,536	4,866
	経常利益	315	762	238	506	285
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	1,099	1,946	1,131	1,986	1,121
	経常利益	143	274	173	165	95
SRA OSS	売上高	1,001	1,808	534	1,136	480
	経常利益	11	79	10	29	21
ソフトウェア・ サイエンス	売上高	1,039	2,245	653	1,516	817
	経常利益	△71	60	△51	100	54
SRA西日本	売上高	635	1,300	495	1,133	467
	経常利益	68	159	40	129	33
SRA東北	売上高	457	1,113	443	1,228	400
	経常利益	3	68	△25	21	14
クレディスト	売上高	174	327	105	219	114
	経常利益	28	44	2	6	△0
その他の子会社	売上高	468	1,001	274	629	243
	経常利益	△5	△14	△8	14	9
SRA子会社合計	売上高	9,600	21,099	8,416	18,386	8,512
	経常利益	494	1,435	378	974	513

単位
:百万円

2. 下期の取り組み

2011年3月期計画

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期計画
売上高	41,777	34,053	35,500
対前年伸び率	△7.3%	△18.5%	4.2%
粗利益	8,346	5,711	7,100
粗利益率	20.0%	16.8%	20.0%
経常利益	3,894	2,059	2,600
経常利益率	9.3%	6.0%	7.3%
当期純利益	2,041	1,238	1,500
1株当たり当期純利益	147.52円	89.48円	108.38円
ROE	15.0%	8.5%	10.0%
1株当たり配当金	40円	40円	40円

取り組み方針

① 安定的な受注体制の確立

② 粗利益率向上 & コスト抑制

③ 下期のリスクとその対応

④ 飛躍への布石

③ 下期のリスクとその対応

～第2Q:景気の先行きが見えず⇒下期:事業環境悪化の予兆 [リスク]

(案件が前年同期比で量・質ともに落ちている兆候が見られる)

[リスクへの対応]

- 【粗利益】 グループ会社で、業績の良い会社は下期もその勢いをそのままに、計画未達の会社はリカバリーのための施策を推進中
- 11月末の時点で年度末業績を見極め、対応が必要となる場合は、全社で『コンティンジェンシープラン』を実行



年度計画達成

具体的施策

- 既存顧客中心に「オポチュニティ」を創出

⇒確実に「受注」につなげる【営業プロセスの確立】

- (株)SRA 金融部門の組織変更

- 原価マネジメント強化【粗利益率向上】

生産効率の向上、外注費抑制、生産間接費削減

- オフショア開発(中国・インド)の拡大

発注:2011年3月期第2Q実績 400人月／2011年3月期計画 1,020人月

- 販管費抑制

2011年3月期第2Q実績 1,859百万円(販管費比率 11.4%)

④ 飛躍への布石

■ 海外ビジネス(欧米+アジア、中国)の拡充

◎SJI、DCHとの協働による中国市場へのビジネス展開

⇒日系グローバル企業/現地企業をターゲットに検討段階

◎SRA OSS, Inc. とProxim社との協働によるSI、無線分野への事業展開

⇒欧米への展開を準備中

◎SRAグループの強みを活かした『新たなビジネスプラン』も策定中

株主還元と企業価値指標

◆1株当たり当期純利益

2010年3月期＝ 89.48円（実績）

2011年3月期＝108.38円（予想）

◆期末配当

2010年3月期＝40円（実績）

2011年3月期＝40円（予想）

<連結配当性向20%を利益配分の目処>

2010年3月期＝44.7%（実績）

2011年3月期＝36.9%（予想）

◆ROE <目標＝連結ROE2桁の確保・維持>

2010年3月期＝ 8.5%（実績）

2011年3月期＝10.0%（予想）

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。